第 77 回日本栄養・食糧学会大会　発表報告

（2023 年５月 12 日（金）～14 日（日）　札幌コンベンションセンター）

研究員１名、修士１年生２名、学部４年生３名、客員研究員１名が第 77 回日本栄養・食糧学会大会で一般演題の発表を行いました。全国学会初参加の学生の感想も含めご報告します。

- **発表演題**

宮崎　さおり（研究員）
「ガム咀嚼時唾液分泌量と体組成との関連：東温スタディ」

石木　純（修士１年生）
「β- カロテンならびにレチノール摂取量と軽度認知障害との関連：東温スタディ」

古川　結唯（修士１年生）
「主食としての米飯摂取量別にみた食事摂取量の特徴」

金田　みなみ（学部４年生）
「ダイエットロコミサイトにおける健康補助食品利用と減量との関連」

藤田　菜緒（学部４年生）
「中高年における朝食欠食と注意力との関連：東温スタディ」

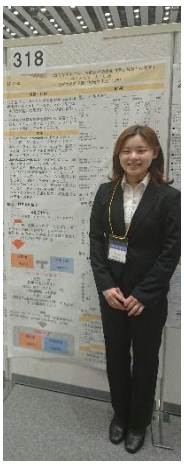
岩佐　涼太郎（学部４年生）
「お腹いっぱい食べることと糖尿病との関連：東温スタディ」

木下　徹（客員研究員）
「ユビキノール（ 還元型コエンザイム Q10）の長期摂取による認知機能の維持・改善効果の検証」

★　発表会場での写真（左：宮崎、中央：古川、右：石木）

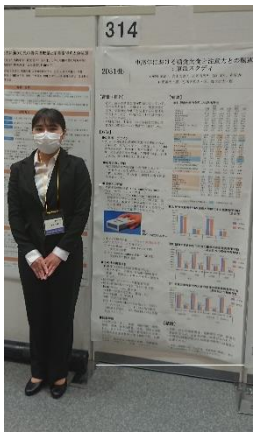
- **感想**

金田　みなみ



私は、『ダイエットロコミサイトにおける健康補助食品の利用と減量との関連』について発表しました。会場に着いたときはとても緊張していましたが、発表の時間になりほかの研究者の方や先生方からの質問に答えていくうちに、緊張が解けていきました。今回、質問された内容から自分の研究の不足している点や改善点が分かったため、今後の研究に生かしていきたいです。また、自分と同じ分野に興味を持っている方が質問者のほとんどで、質問者の方が発表した結果からどういう考察をするかなども聞くことができ、初めてほかの研究者の方と意見交換をする良い機会になりました。今回の経験を生かし、卒論発表では今回よりも良い発表ができるように頑張ります。

藤田　菜緒



私は、『中高年における朝食欠食と注意力との関連』について発表を行いました。初めての学会発表でしたが、ポスターでの発表だったこともあって、あまり緊張せずにできたと思います。質問をしていただいたことに関してはっきりと回答できなかった部分や、自分自身曖昧になっていた部分を確認できたため、そういった箇所を重点的に考察し、よりよいものにできたらと思います。多くの方にご質問・ご指摘いただけた貴重な機会になりました。また、シンポジウムや他の参加者の方が作成したポスターなどを拝見して、以前の自分になかった知識や視点を得ることができたと思います。今回の経験で得たものを踏まえて、今後の研究に活かしていきたいです。